令和３年度使用中学校用

教科用図書調査実施結果一覧表

令和２年７月

津市教科用図書調査研究委員会

※取り扱い注意

報告順

国語（４者・３学年分）
書写（４者・３学年分・４冊）
社会　地理的分野（４者）、歴史的分野（６者）、公民的分野（６者）、地図（２者）
数学（７者・３学年分）
理科（５者・３学年分）
音楽　一般（２者・３学年分）、器楽合奏（２者・２冊）
美術（３者・３学年分）
保健体育（４者・３学年分・４冊）
技術・家庭　技術分野（３者３冊）、家庭分野（３者・３冊）
英語（６者・３学年分）
特別の教科　道徳（７者・３学年分）

国　語

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　　国語　　〕

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称							
		新しい国語　２・東書		現代の国語　１５・三省堂		伝え合う言葉　中学国語　１７・教出		国語　３８・光村	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由	評価	理由
1学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○	「学びを支える言葉の力」を教材とリンクして活用することで深い学びにつながる。思考整理の手法が３年間で系統立てて入れられている。単元ごとに習ったことを次に生かしていけるように配置されている。	◎	「学びの道しるべ」「思考の方法」「読み方を学ぼう」「語彙を豊かに」など、読み深めるための資料が豊富である。「読み方を学ぼう」の一覧が巻末にあるのがよい。	○	「学びナビ」でこの単元で何を学ぶか、どのように学ぶがを把握してから学習することができる。ＳＤＧｓの視点を単元の課題に取り入れている。	◎	「学習」のページで「見通しをもつ、捉える、読み深める、考えをもつ」という思考の段階が示されている。「思考の地図」「学習の窓」一覧が折り込まれていることで思考の可視化になっている。場面や目的に応じて思考法を身に付けられる。
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	◎	「学びの扉」から言語能力の基礎を学んでいけるようになっている。漫画での導入など、生徒が楽しんで取り組める。「話す・聞く」「書く」の学習箇所がカラーで手順が分かりやすい。	○	言語活動の教材では、「話し合いのこつ」が明記され、生徒が実践で活用しやすい工夫がある。「漢字を身につけよう」では中学で新しく学ぶ漢字に○印がついている。文法項目は分かりやすい。辞書のコーナーがあるのがよい。	○	各単元で「話す・聞く」「書く」の項目が設定されていて、様々な言語活動をすることができる。文法項目も、従来のものだけでなく、言葉と社会の単元でこれからの時代に必要な力を付けることができる。	○	「学習の窓」では、学習用語の説明があり、「言葉を広げる」では、言語感覚を磨く課題が設けられている。漢字・文法学習の工夫がよい。小学６年の漢字が問題形式で記載されている。「話す・聞く」「書く」の学習の流れが見開き２ページで示されている。
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	◎	メディアリテラシー、図書館の活用方法、情報の集め方、信頼性の確かめ方など情報活用に関する単元が各学年にある。デジタルコンテンツ教材マークがある。	○	「情報」を扱った教材では、グラフや広告の比較などを大きく取り上げ、取り組みやすくなっている。２次元バーコードで主に古典の関連資料を読むことができる。	○	「まなびリンク」の２次元バーコードで関連資料を見ることができる。 「メディアと表現」では、漫画や広告・絵コンテ・写真・新聞を活用するなど生徒が取り組みやすい工夫がされている。	◎	各教材に関連する２次元バーコードが適切な場所に掲載されている。内容としては、教材朗読、関連音声、言語活動の動画、サイトへのリンクなどがある。情報を扱う教材としては、３年で報道文の比較読みが扱われている。
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	○	目次ページでどの単元で何を学ぶか分かるようになっている。キャラクターによる「問いかけ」に倣って主体的に見通しをもって学習を進めることができる工夫をしている。教材の終わりの「振り返り」の課題は、書く活動につながっている。	◎	「学びの道しるべ」が充実している。「読み方を学ぼう」は短い説明文で基本構造が学べるようになっている（色分けも見やすい）。巻末に「読み方を学ぼう」の一覧がついており、振り返りがしやすくなっている。	◎	「学びナビ」で学習の見通しを立てることができる。また、目次ページでも単元で何を学ぶことができるか分かりやすく書かれている。目標がとてもくわしく載っている。	◎	発表の仕方が記載されている。学習過程が明示されているので見通しが立てやすい。振り返りの課題は単元テーマに沿った内容で書く活動となっている。巻末の「学習を振り返ろう」「学習を広げる」で学習の振り返りができる。
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○	ＳＤＧｓをはじめ現代的な諸課題を扱った教材が多い。例えば２年では郷土、３年では防災をテーマとした教材がある。また３年では社会や進路に目を向けさせることを扱った教材がある。	○	地域社会と連携した学習については、１年「地域の人々に防災意識を高めてもらうために」２年「地域の魅力を振り返って」の教材がある。	○	家庭や地域社会と連携した学習として、１年「随筆を書く」２年「新聞の投書を書く」３年「自己ＰＲ文を書く」の教材がある。 １年では「地域から世界へ」の教材により、地域と結び付ける工夫がある。	○	説明文が様々な教科とリンクしている。ＳＤＧｓや他教科との関連教材が多い。例えば、２年「職業ガイドを作る」などがある。
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	○	Ｄマークコンテンツに文法練習問題等、学ぶ意欲のサポートがある。学習用語一覧で学んだことをすぐに探せる。「書く」学習は、写真を多用し取り組みやすい工夫。読書関連の充実。テーマ別に作品が選ばれている。	○	説明文の題材が豊富で、資料編も充実している。「思考の方法」「読み方を学ぼう」「語彙を豊かに」を読めば自主的に学習ができる。			◎	資料編に単元では学ばなかった部分の古文や小説、郷土の作家が記載されている。 学習の手引きが分かりやすく自主学習しやすい。 各教材ごとの２次元バーコードから自発的な学習につながる。
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫			○	英語との関連で学ぶコーナーが設定されている（音節・語順・慣用句等）。資料編に社会生活で使う言葉が分かりやすく紹介されている。最近の曲の歌詞を「歌の言葉」として取り上げ、音楽教材との関連を図っている。	◎	ＳＤＧｓ「持続可能な未来を創るために」の単元が全学年に入っている。 他教科と関連したテーマや教材が多い。	○	情報化社会を生きる教材、ＳＤＧｓや他教科との関連教材が多い。 同じテーマについて２教材を比較読みする工夫がされている。例えば、２年の「絵画最後の晩餐」３年の「人工知能」がある。
2使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴							○	教材が学年に合っている。例えば１年「シンシュン」３年「誰かの代わりに」などがある。 読み物と言語活動教材との配列・配分がよい。
	(2)教材・資料等の分量についての特徴	○	資料編の内容が充実している。 古典の資料が充実していて見やすい。					○	１年では古典年表が掲載されていて、３年間の見通しがつく。 古文が集中的ではなく、前半にも載っている。例えば２年１学期に古文「枕草子」が入っている。 文法は上段には解説、下段には小問が設けられているので使いやすい。
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	◎	見出し、行数などが見やすい。 １年の読み教材は大きな活字を用いている。 カラーユニバーサルデザインを採用している。 イラストや読み物の挿絵が生徒の関心をひくものとなっている。	○	表が見やすくなっている。色だけではなく、柄や枠で区別しているのがよい。華美な色やイラストが少なく、落ち着いた色調で統一されており、目の負担が少ない。			○	拡大教科書がある。３年間同じ色遣いで分かりやすい。紙色がクリーム色で目に優しい。ＵＤ書体が採用されていて、色覚を配慮したカラーを用いている。 ページ番号が上段記載となっている。 古典の原文が筆記体で現代語訳との違いが分かりやすい。
3その他	その教科書の特徴（記述）					○	「学びのチャレンジ」では全国学調やＰＩＳＡなどを踏まえた学習に取り組めるようになっている。 「言葉の地図」にＳＤＧｓを表記する工夫がされている。	○	「季節のしおり」「言葉を味わう」のカラーが美しい。

国　語
書　写

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　国語　書写　〕

	調査実施項目	教科書の名称　発行者の番号・略称							
		新しい書写　一・二・三年　２・東書		現代の書写　一・二・三　１５・三省堂		中学書写　１７・教出		中学書写　一・二・三年　３８・光村	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由	評価	理由
1学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫					○	・P12等、「考えよう」の項目で話し合いのポイントや、話し合いをするときに使うべき学習用語などが示されており、主体的・対話的に学ばせやすい。	◎	・３年間の見通じを、具体的な活動で示されている。 ・P7、部首を色分けで図示してあり、自分で字形のバランスを考えることができる。
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	○	・「書写活用ブック」で様々な言語活動についてまとめられている。 ・巻末の漢字一覧表に「人名漢字」も載せられている。	○	・P64、楷書と行書の使い分けを考えさせながら、伝言を受けた時の箇条書きのメモの取り方や、贈り物をしてくれた相手へのお礼状の書き方が学べるなど、実用的な課題がある。	○	・P27、片仮名の筆順があるのは役立つ。生徒に正しい筆順を覚えさせ、字形の確認にも使える。 ・巻末の漢字一覧表が、部首別になっており、国語の授業で扱う漢和辞典との関連が見られる。	◎	・P40等、「学習の窓」において単元の学習のポイントが示され、手本以外の文字であっても活用できる工夫がある。 ・P16、行書の部首の点画のつながりや省略など、字形の特徴が分かりやすい。 ・巻末の漢字一覧表に「人名漢字」も載せられている。
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・P14等、インターネットで教材文字の運筆動画を繰り返し見ることができる。 ・P1、運筆等学習の参考となる指導用デジタルコンテンツを利用できる。 ・巻頭にＱＲコードがあり、まとめて見ることができる。			○	・P18等、インターネットで教材文字の運筆動画を繰り返し見ることができる。 ・運筆等学習の参考となる指導用デジタルコンテンツを利用できる。 ・巻頭にＱＲコードが有り、まとめて見ることができる。	◎	・P41等、運筆等学習の参考となる指導用デジタルコンテンツを利用できる。 ・各学習活動ごとにＱＲコードがある。 ・インターネットで教材文字の運筆動画で繰り返し見ることができる。
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	・P14等、「書写のかぎ」で学習のポイントが整理されており、振り返りのポイントも示されている。	○	・P23等、「振り返ろう」で学習したことを活用したり、自分の言葉でまとめる項目があったり、学習を振り返ることができる。			○	・目標、学習の振り返りが明確に示され、見通しをもって主体的に学習に取り組める工夫がされている。
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫			○	・P86、時候の挨拶や頭語、結語などの原寸大の見本があり、様々な地域の人へと手紙を書く意欲を引き立てる。	○	・P39等、身の周りで見られる書や先人の書の味わい深さを実感できるコラムや、地域のシンボルである城址写真のコラムなどが多数載っている。	◎	・P27、年賀はがきの実物が付属されており、実際に年賀状を送る体験ができる。 ・P109～、「日常に役立つ書式」が種類も充実しており、それぞれの書体も工夫されているので、学習して身に付けた内容を日常生活の中で生かせるよう工夫されている。
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫							◎	・P48等、学習に関連した資料がコラムの形で、各学習材の後に付けられており、学習活動と合わせてその都度確認ができる。 ・P98、ＵＤ書体が示され、社会情勢と連携した学習が進められる。 ・P20他、書き込みができるページがあり、生徒の主体的活動を図りやすい。 ・P41他、「トン・スー・トン」の擬態語で筆運びが示され、分かりやすい。
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫							◎	・P116、実生活に役立つ順書や送り状の手本の大きさが適切である。また、送り状が行書体になっているのは光村だけで、より生活に密着した学習が望める。 ・都道府県名の行書の書き方と併せて、各都道府県の県章やシンボルマークを学ぶことができる。
2使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴							◎	・P78、２年生の行書手本が４字であるのは適切である。
	(2)教材・資料等の分量についての特徴							◎	・分量としても適当で、内容も精選されており、手本の大きさなど充実したものとなっている。
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	・P97～、１年生の書初めで、楷書手本が大判なのは、東書だけである。			○	・P16、１年生最初の手本に名前まで入っているのは、バランスが分かりやすくてよい。 ・学年別に色分けされ、各学年で何を学ぶかが見やすい。	◎	・原寸大の手本で名前まで示されているので、全体のバランスが分かりやすい。 ・色の割合を極力抑え、落ち着いて学べる紙面となっている。 ・本編と「書写ブック」に分かれ、毛筆と硬筆の関連性が分かりやすい。 ・Ｂ版のサイズがコンパクトで、机上が整理されやすい。
3その他	その教科書の特徴（記述）							◎	・指導書付属のＤＶＤでは、全ての手本がプリントアウトできる上、生徒の名前の手本も教材と同じ書体で作ることができ、生徒の活動がスムーズに行える。

社会・地図

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

◎特に優れている　　○優れている

教科名〔社会(地理的分野)〕

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称							
		新しい社会　地理　２・東書		中学社会　地理　地域にまなぶ　１７・教出		社会科　中学生の地理　世界の姿と日本の国土　４６・帝国		中学社会　地理的分野　１１６・日文	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由	評価	理由
1学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・世界の諸地域や日本の諸地域の単元において、その地域の探求課題が最初に示されているため、主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている。			◎	・各単元の中に問が用意されており、主体的、対話的に学習課題にせまることができる。本文についても、学習者の興味関心を引き、読みやすい表現となっている。 ・まとめ活動のページで地図等を使い、様々な方法で活動できるようになっている。(P64他)	◎	・学習課題とともに「見方・考え方」が示されており、課題を探求するときの手がかりが示されている。
	(2)言語能力の育成を図るための工夫			○	・章末の課題に「意見交換をしよう」などの討論につながる課題が設定されている。(P65他)	◎	・章のまとめに資料や学んだ内容を用いた説明問題が用意されている。また、どのような力を判断する問題なのかが明示されている。(P168、P169他)		
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫								
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫			○	・世界の諸地域の単元において、学習している国が地図上のどこにあるのかが、地球儀のイラストで示されている。(P52他)	◎	・章の問、各単元の学習課題が明確に示されており、見通しを持ちやすい工夫がされている。章末には振り返りが問題形式でまとめられ、さらにその章の問も再度示されている。(P13、P64他)	◎	・章のまとめのページにおいて、表にまとめる、討論をする、ウェビングマップにまとめるなど様々な手法で学習内容をまとめたり、深めたりする工夫がみられる。
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫								
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	○	・世界の諸地域の単元において、各州の地図にイラストが多く取り入れられており、その土地の特徴に興味を持ちやすい内容となっている。(P57他) ・SDGsの観点が示されている。(P1、P270)			○	・衣食住などの項目については、具体的な写真と地図を問題形式にしており、自主的、自発的な学習を促す工夫がされている。(P40、P41) ・世界の諸地域の学習に入る前に、何に注目して学ぶのかSDGsの観点から示されている。(P47)	○	・全体的に写真量が多く、視覚的に生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫					○	・小学校の社会、中学の歴史、公民との関連について、ページ番号横に示されており、関連して考えるための工夫がなされている(P6、P20)		
2使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴					◎	・1つのテーマが教科書の見開き2ページで構成されており、ページをまたぐことが少ない。特にP158からP163の日本の産業の内容については、この教科書だけが2ページずつで第一次産業、第二次産業、第三次産業が構成されており分かりやすい。		
	(2)教材・資料等の分量についての特徴		・写真が多く見やすい。						
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	・地図中の大陸が大陸別に色分けされるなど、ユニバーサルデザインを取り入れた地図となっている。			◎	・国名・都道府県名などが大きく赤字で書かれている。(P84、P256他)また、国境や県境についても国ごとに色を付けたり、境界を赤で示したりするなど、ユニバーサルデザインが取り入れられている。 ・1時間の授業が見開きで完結できるようになっている。 ・世界の気候で、雨温図が示され分かりやすい。(P28、P29)		
3その他	その教科書の特徴（記述）					◎	・地図を作成している出版社であるため、地図帳を用いた学習との連携が図られている。 ・竹島や尖閣諸島、北方領土に関する現状や課題について記載している。北方領土については、図、写真を利用し明確に示され、歴史的経緯も記載されている。(P20、P21) ・三重県について、水産業や林業、工業について、志摩市(P204)や四日市市(P224)を記載している。		

〔様式１〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　社会(歴史的分野)　〕

	調査実施項目	教科書の名称　発行者の番号・略称					
		新しい社会　歴史　２・東書		中学社会　歴史　未来をひらく　１７・教出		社会科　中学生の歴史　日本の歩みと世界の動き　４６・帝国	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由
１学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・まとめ学習の際、思考ツールを毎回紹介し、生徒が主体的に単元のまとめに取り組める。(P58～P61他) ・章や節、本時ごとに学習課題が設定されており、段階的に探究していく仕組みになっている。(P63、P64他) ・地図や写真を読み取るポイントが書かれており、生徒が考える視点を持ちやすい。(P64他) ・「みんなでチャレンジ」ではグループ学習の手順や方法が丁寧に紹介されており、生徒自身で学習を進めやすい。(P60他)			◎	・まとめ学習の際、活用できそうな思考ツールを毎回紹介し、生徒が主体的に単元のまとめに取り組めるようになっている。(P56、P57他)
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	◎	・各時代区分で「まとめの活動」を設定し、様々な思考ツールを使ってまとめたものを交流できる構成になっており、自分でまとめたことを他者に説明する力を育成することができる。			◎	・各時代区分で、「章の学習を振り返ろう」のページがあり、様々な手法を用いてまとめたものを交流するような構成になっている。そのため、自分でまとめたものを他者へ説明する力が付くよう工夫されている。(P56、P57他)
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・Dマークが各所にあり、ウェブページ上のデジタル資料にアクセスできる。(P51、P233、P259他) ・二次元バーコードがついている箇所では、地理や公民との関連ページにアクセスできる。(P140、P180、P198他)			○	・教科書の導入ページの拡大や、歴史年表、単元のまとめの解答、NHK for Schoolへのリンクなどが準備されている。
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	・各章の導入時に探究課題と小問を提示し、単元終了後に課題についてまとめる構成となっている。そのため、単元を貫いて探究を進めていくことができる。(P19、P59、P63、P95他)	○	・各中単元で探究課題を設定している。(P20) ・章のまとめのページが設けられている。(P56、P57)	○	・各中単元の探究課題が載っている。その探究課題に対する回答させるようになっている。 ・章のまとめのページで中単元の探究課題とともに単元を貫く学習課題への回答がしやすく工夫されている。
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○	・「地域の歴史を調べよう」が各章に設けられており、地域から学ぶ例を紹介している。(P244、P276他)	○	・「○○を訪ねて」(P36)が各章に設けられており、地域から学ぶ例をいくつも載せている。	○	・「歴史を探ろう」(P32)が12テーマ設けられており、地域から学ぶ例を載せている。
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	◎	・「みんなでチャレンジ」(P19、P89他)「スキルアップ」(P25、P89他)では、資料を読み解く際の視点が紹介されており、生徒が自主的・自発的に追究したくなるような仕掛けとなっている。				
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○	・巻末３の旧国名地図では、現在の県名と併記されており分かりやすい。 ・他教科関連マーク及びDマークのついているものは、その教科書の紙面を確認することができる。(P45、P51他)	○	・旧国名の地図を同一紙面で確認できる。	○	・旧国名の地図を同一紙面で確認できる。
２使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴						
	(2)教材・資料等の分量についての特徴						
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	・本文とそれ以外の資（史）料、記述の見分けがつきやすいよう、本文以外は薄い色を背景にしている。 ・災害の写真に対する配慮を求める記述がある。(P3)				
３その他	その教科書の特徴（記述）	◎	・差別からの解放について、三重県を取り上げている。(P240)他にも、江戸時代に蘭学のための解剖に関わった人々(P134)、全国水平社(P218、P241)、西光万吉(P218)、部落解放運動(P218、P255)を取り上げている。 ・領土問題を扱うページでは、日本固有の領土であるという根拠となる資料が掲載されている。(P180、P181) ・防災のページでは、過去語り継がれてきた話をいかに次世代に伝えるかという視点で書かれている。(P274)				

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　社会(歴史的分野)　〕

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称					
		中学歴史　日本と世界　８１・山川		中学社会　歴史的分野　日文・１１６		［最新］新しい日本の歴史　２２７・育鵬社	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由
1学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫			○	・まとめ学習の際、年表や地図などを活用するよう促している。(P62、P63) ・「学習課題」、「見方・考え方」、「深めよう」が各ページにあり、主体的・対話的で深い学びを行いやすくする工夫がある。	○	・まとめ学習の際、年表や地図などを活用するよう促している。(P66、P67)
	(2)言語能力の育成を図るための工夫						
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・二次元バーコードがついている箇所では、インターネットを使った学習ができるようオリジナルの教材(P25、P59)が準備されている。	○	・デジタルマークのついた教材は、ウェブページにあるデジタル資料で学習を深めることができる。(P8、P32)		
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫			○	・各章の導入時に探究課題を提示し、まとめ時に回答させるようになっている。(P15、P63)		
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○	・「地域からのアプローチ」(P58)が各章に設けられており、地域から学ぶ例をいくつも載せている。	○	・「でかけよう！地域調べ」(P60)が各章に設けられており、地域から学ぶ例をいくつも載せている。		
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	◎	・ほとんどの資（史）料に、自主的・自発的に追究したくなるような発問が載っている。(P17、P18他多数)				
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫			○	・旧国名の地図を同一紙面で確認できる。		
2使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴						
	(2)教材・資料等の分量についての特徴						
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴						
3その他	その教科書の特徴（記述）						

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

教科名〔　社会（公民的分野）　〕

◎特に優れている　　○優れている

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称					
		新しい社会　公民　2・東書		中学社会　公民 ともに生きる　１７・教出		社会科　中学生の公民　よりよい社会を目指して　４６・帝国	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・各項の課題が明確に記されており、探求するべきポイントへのアプローチがしやすい。また、掲載されている資料が最新のものが多く、グラフのみならず、写真や新聞等の実例も多く含まれている。【例】『見方考え方』『チェック・トライ』でグループ討論ができる。(P48、P49他)	○	・写真資料も、統計資料も比較的サイズが大きく見やすい。	◎	・数多く掲載されている資料の活用方法や、それぞれの資料からどのような情報を読み取るのが適切であるか投げかける課題の設定がされている。 ・単元において探求するべき課題は何かが分かりやすく提示されている。
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	◎	・各単元の学習を3段階の問いで構造化し、段階的なステップで課題を解決していくことで、思考、判断した内容を適切に表現できる力を身に付けられるようになっている。(P7、P39他)				
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・Dマークがあるページでは、インターネットを使った学習をすることができ、P5に掲載した二次元コードやURＬから、シミュレーションや動画のコンテンツを活用して理解を深めることができる。	○	・「公民にアプローチ」で、各種メディアの特徴、情報の読み取り方について紹介されている。 ・QRコードが付いており、必要な情報にすぐアクセスできる。	○	・各単元にICTがどのように深くかかわっているか述べた文章がある。 ・金融の分野ではフィンテック、ベンチャーキャピタル、クラウンドファンディングなど(P132)の新しい用語を積極的に使い、社会に出たときのかかわり方についても言及している。
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	・章ごとに『まとめの活動』などの振り返り学習が行えるページが設定されている。それまでの学習を活用してグループ等で課題に取り組めるよう工夫がされている。(P70、P71他)	○	・章ごとに「学習の見通し」が記載されている。単元ごとに学習課題が設定されており、その単元で押さえたい所がどこかよく分かる。 ・次の章へのつながりが記載されている。	○	・『学習の前に』(P1)『アクティブ公民』(P101)『技能を磨く』(P103)『章の学習をふりかえろう』(P105)などの項目があり、課題の設定から振り返りの設定までが丁寧に整えられている。生徒自身が学習の見通しを立てやすい。
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○	・選挙(P76、P77)や店の経営(P128、P129)など架空の場面を設定し、取組を疑似体験することで、政治や経済とどのように関わっていくかを学ぶことができる。			○	・各分野の著名人の談話(P104)や中学生へのメッセージ(P104他)が豊富で、現代社会の動きと密接に関連した分野であることが強調されている。
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	◎	・現代社会の課題や今後の展望などに対して、この教科書を使う中学3年生はどう考えるか問いかける表現(P86、P88)や自分たちに身近な写真資料(P80)が見られる。 ・「18歳へのステップ」(P88、P136)というページを設けることにより、選挙権や成年年齢の引き下げを受けて、18歳に向けて準備する意識を高めようとしている。 ・「もっと公民」(P16、P36、P124他)というページを設けることにより、学習内容を深めたり広げたり、違う視点でとらえたりできる資料を提供している。	○	・「公民の技」で、話し合い活動やグループ学習に適した課題提供がさなされている。	○	・多くの新しい資料とともに課題設定がなされているので、教科書と資料集等を使い、自主的自発的にある程度考えを深めることができる。 ・新聞や情報ツールの使い方見方を記してあることで自分で調べる参考になる。
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫						
2 使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴						
	(2)教材・資料等の分量についての特徴						
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	・資料等の背景に着色があり、見やすい。 ・グラフや地図などで凡例を使用せず図中に直接示すことで、資料を見やすくしている。(P86、P168、P188、P203他) ・憲法の条文や解説のページで、文字の色分けにより見やすく表示されている。(P222～)	○	・実際の活動を紹介する記事が多い。(P53他)		
3 その他	その教科書の特徴（記述）	◎	・前回の改定時と比較し、この数年で変化した社会の様子が記載されており工夫がみられる。(P192～)また、SDGS(P180)やLGBD(P74)など国際的な課題についても充実した内容となっている。また、グループワークや話し合い活動を重視した課題が多く、主体的な学びに適している。(P107他) ・三重県について、伊勢志摩サミットの様子(P191)と高校生レストラン(P173)について写真で紹介されている。 ・領土をめぐる課題は解決への取組も記載されている。(P184、P185) ・性の多様性等共生社会の特集の記載がある。(P74) ・公民アクセスのコーナーで「外国人参政権」が記載されている。津市として扱いたい内容である。(P58)				

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　社会（公民的分野）　〕

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称					
		中学社会　公民的分野　１１６・日文		新しい公民教科書　２２５・自由社		[最新]新しいみんなの公民　２２７・育鵬社	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・抽象的な社会のしくみを確実に理解できるよう、本文が平易な表現になるよう努めるとともに(P124「希少性」)、写真、グラフ、しくみ図などの図版を豊富に掲載している。				
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	○	・学習内容のまとめ、自身の考えを整理するのに役立つシンキングツールが随所に設けられており(P33、P118、P77、P121、P152、P175他)。これらを活用したグループ活動などで、言語能力の育成を図ることができる。			○	・「よりよい社会」のためのレポート課題が設けられており(P203～P209)、言語能力の育成を図ることができる。
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫						
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	・各編の導入に、中学生が主役になったマンガが掲載され、学習の見通し、見方・考え方を身近な場面で結びつける工夫がある。(P122、P123他) ・各編末にシンキングツール(P175他)を用いたまとめが例示され、さらに「第5章に向けてのヒント」が設けられている。	○	・単元に通し番号が付けられている。(全5章72単元構成)		
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫						
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	◎	・随所に「アクティビティ」コーナー(P133他)が設けられており、習得した知識を使い、見方・考え方を働かせながら考察する問いによって、主体的・対話的で深い学びへの取り組みを支援している。				
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫						
2 使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴					○	・5章構成で、100時間の配当時数で完結するようになっている。
	(2)教材・資料等の分量についての特徴						
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	・各編とも導入ページ、本文ページ、まとめと流れるように工夫されており、本文の構成もルーティン化されている。 ・学習者用デジタル教科書があり(有料)、総ルビ、読み上げ、背景色や文字色の変更ができる。				
3 その他	その教科書の特徴（記述）	○	・領土問題については、世界の平和的解決の例も記載されている。(P182～P185) ・「差別のない社会へ」(P52、P53)の資料は、生徒が主体的に考え、対話したくなるものであり、学んだことを活かしていきやすい。 ・点字に触れることができるページがある。(P50)	○	・裏表紙に「わが国の領域」を地図で示している。		

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

教科名〔　社会　地図　〕

◎特に優れている　　○優れている

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称			
		新しい社会　地図　２・東書		中学校社会科地図　４６・帝国	
		評価	理由	評価	理由
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・世界の主題図とグラフ（P19～P28）は生徒が自ら考え、調べ、課題を解決していくために活用しやすい資料が集められている。 ・グラフが大きく文字も分かりやすく配置されている。 ・土地の断面図が数多く配置されており、地図を立体的に捉える力の育成に向けての工夫がみられる。 ・高速道路や新幹線などの配色や線の太さに工夫があり、地域のつながりを考えるうえで活用しやすい工夫がみられる。 ※主題図：土地利用・人口・地質・植生・道路・防災・観光など、特定の主題に重点を置いて描き表した地図のこと	◎	・「学習課題」が示されているページが複数（P13～P17、P145～P163）あり、地図中の主題図や資料を使い、主体的・対話的な学びにつながる工夫がみられる。 ・国名や国境、都道府県名や県境などが非常に大きく、はっきりと示されており、課題について考える際に、生徒が領域を意識しやすい工夫がされている。 ・統計のページ（P167～P173）に各項目の上位５か国と下位５か国が赤と青に色分けされており、その国の特徴を学ぶ上で分かりやすい工夫がみられる。 ※主題図：土地利用・人口・地質・植生・道路・防災・観光など、特定の主題に重点を置いて描き表した地図のこと
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	○	・各ページにキャラクターのセリフとして、資料を用いて、特徴や違いを説明する問いかけがされており、言語能力育成につながる工夫がされている。	○	・「地図活用」の問の中に説明を求める設問（P111、P117）があり、言語能力の育成につながるものが用意されている。
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫			◎	・各所にQRコードが示されており、そこから衛星画像や動画メニューにリンクされているため、地図から様々な資料へと思考を発展させていくことができる。
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫				
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫				
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	○	・「ジャンプ」という他の関連ページの紹介がされており、自主的な学習につながる工夫がされている。（P151）	◎	・「地図活用」という名前の地図を利用した問題が用意されており、地図を使って自主的に学習を進めることができる工夫がされている。（P109、P112）
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	◎	・歴史的な資料をまとめ、歴史的分野においての活用も意識した内容となっている。（P39、P40）	◎	・世界の地図中にも歴史的出来事が示されており、歴史的分野での活用を意識した内容となっている。（P29、P30、P37）
2 使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴				
	(2)教材・資料等の分量についての特徴				
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	◎	・地図中に特産物などがイラストで数多く示されており、視覚的に各地の特徴をつかみやすい工夫がなされている。 ・地図のページと資料のページが明確に分けられており、情報を整理して考えやすい工夫がされている。	◎	・土地の高低や土地利用の色分けが分かりやすく、視覚的に地形がイメージできるよう工夫されている。（P109、P110） ・地図と資料が横並びに掲載されており、比較してみることができる。 ・Ａ４判サイズであるため、全体的に見やすい。 ・航空路線や航路が地図中に示されている。
3 その他	その教科書の特徴（記述）	◎	・巻頭でＳＤＧｓ（P7、P8）や世界の現在的な諸課題（P9～P14）が特集されており、生徒に課題意識を持たせやすい。 ・鳥瞰図で海底の高低が示されており分かりやすい。	◎	・北方領土に関する歴史的変遷が地図で記載されている。（P142） ・世界の言語であいさつの例がイラストで示してあり生徒が親しみやすい。（P17） ・鳥瞰図の陸地が見やすい。 ・同緯度同縮尺の日本が地図中に示されており、日本と世界の国々の大きさや形を比較しやすい。（P41、P57） ・防災に関連した資料が掲載されている。（P96、P97、P115、P130、P149）

数　学

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　数学　〕

	調査実施項目	教科書の名称　発行者の番号・略称							
		新しい数学 2・東書		数学の世界 4・大日本		中学校数学 11・学図		中学数学 17・教出	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由	評価	理由
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○	①身近でオーセンティックな課題を、章のとびらや深い学びにつながる特設ページに設定し、日常生活で出会う問題を数学で解決する力の育成につなげている。 ②思考力・判断力・表現力等を育む記述式の「活用の問題」を章末問題に配置し、どの教員も取り扱うようにしている。 ③巻末に深い学びを振り返るページを設定し、見方・考え方の定着を図っている。					○	①巻頭の折り込みを工夫し、見方・考え方を日常の授業で繰り返し意識できるようにしている。 ②教科書の中で見方・考え方を随時示すとともに、見方・考え方の意味が伝わるように、学習内容に沿った具体的な言葉を加えている。
	(2)言語能力の育成を図るための工夫								
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	二次元コードの動画が分かりやすく、問題場面の理解促進や関心・意欲を高めることにつながる。						
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	○	単元の区切りに「学びを振り返ろう」の項を設定し、大切な考え方等について再度考え、自分の言葉でまとめるなど、内容のまとまりごとに効果的な振り返りができるようにしている。			○	章末に、この章の学習でできるようになったことを自己評価できる項を設けて、学びなおしや復習が必要な内容が明確になるようにしている。		
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫								
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	○	章のとびらでは、身近な場面によるシンプルな課題を親しみやすいイラストで提示するとともに、適宜質の高い動画教材も配置し、学習の動機付けを促し、関心・意欲を高めている。						
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫			○	巻末のコーナー「ＭＡＴＨＦＵＬ」では、数学が日常生活に生かされていることを多様な題材で紹介しており、数学を学ぶ意義や数学と他教科との関連を実感することができる。				
2 使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴								
	(2)教材・資料等の分量についての特徴								
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	①文字の太さをより適切に変化させたり、充分な余白を設けたりするなど、全体的にすっきりと読みやすい。 ②３冊の教科書の重さの合計が、７つの発行者のなかで最も軽い。						
3 その他	その教科書の特徴（記述）								

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　数学　〕

	調査実施項目	教科書の名称　発行者の番号・略称							
		未来へひろがる数学　６１・啓林館		見方・考え方がはたらき，見方・考え方をはたらかせる これからの 数学 １０４・数研		中学数学　１１６・日文			
		評価	理由	評価	理由	評価	理由		
1学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	①学習のまとまりごとに見方・考え方を示しているとともに、巻末の「学びのあしあと」に特に重要なものがまとめられており、見方・考え方の定着を図ることができる。 ②自分の考えを他者に発信したり、統合的に考える力を養ったりする場面を「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」として設け、対話的な学びや深い学びを促している。 ③「自分から学ぼう編」には、生徒の興味をひきながら知識・技能を活用し深い学びを実現する課題が豊富に掲載されており、思考力・判断力・表現力等をより一層育むことができる。						
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	○	教科書の随所に「説明しよう」「話し合おう」といった言葉を設けているため、説明や話し合いを適切な場面で行うことができる。			○	教科書の巻末に対話シートが付いており、自分の考えを整理するとともに、互いの考えを共有しやすいようにしている。		
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	二次元コードを１６４箇所掲載している。特に、章末問題と「自分から学ぼう編」の「力をつけよう」のすべての問題の解答・解説を見ることができるので、答え合わせの時間の削減や効果的な家庭学習につなげることができる。	○	二次元コードを１６４箇所掲載している。特に、連続的な動きのある紙の上で表現しづらいものの理解を助けるイメージコンテンツやフラッシュカード形式で基本的な問題に繰り返し取り組める補充コンテンツが充実している。				
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	①「自分から学ぼう編」の「学びのあしあと」において、学びの達成度を自己評価して今後の学習につなげたり、大切な数学的な見方・考え方を改めて振り返ることで見方・考え方の定着を促したりすることができる。 ②「自分から学ぼう編」には、難易度が異なる問題が豊富に設けられており、学力や習熟度に応じて、学習内容の定着を図ることができる。						
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫								
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	○	「自分から学ぼう編」には、生徒の興味をひきながら知識・技能を活用し深い学びを実現する課題や幅広い難易度の問題が豊富に掲載されており、自主的・自発的な学習を促すことができる。						
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○	「自分から学ぼう編」には、社会科の時差、理科の地震・反射角等、数学的な要素が強く、つまずきやすい内容が取り上げられているので、学びなおしができる。また、「社会見学にいこう」のコーナーでは、数学と社会のつながりが問題を解きながら実感できるようにしている。						
2使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴	○	まとめの問題（「もっと練習しよう」「力をつけよう」）の分量が充実しており、難易度もやさしいものから入試問題のやや難しいレベルまで幅広く掲載している。	○	まとめの問題（「ぐんぐんのばそう　チャレンジ編」）の分量が充実しており、難易度もやさしいものからやや難しいレベル、発展的な内容まで幅広く掲載している。				
	(2)教材・資料等の分量についての特徴								
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴								
3その他	その教科書の特徴（記述）								

理　科

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている
教科名〔　理科　〕

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称					
		新しい科学　2・東書		理科の世界　4・大日本		中学校科学　11・学図	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由
1学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○	・1年P5、3年P19に議論・発表方法、学び方の例が示されている。 ・課題ごとに「課題に対する結論を表現しよう」「学びを生かして考えよう」の項で主体的・対話的で深い学びに導いている。 ・3年P292からの第3節「科学技術の発展」では、実習1、2やその他の課題を投げかけ、今までの学習をもとに主体的・科学的な深い学びをすすめるための工夫がされている。	○	・1年P64、P65など、各章末に探究活動のコーナーが充実しており、科学史にも触れられている。	○	・各巻頭で気付き、課題、仮説の流れが丁寧に説明されていて、レポートの書き方が分かりやすい。 ・2年P17など、仮説を立て、話し合い、計画する流れを、キャラクターが吹き出しで会話しているので、どんな話し合いをすれば、深い学びに向かう展開になっていくのかをイメージしやすい。
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	○	・1年P20など、「課題に対する結論を表現しよう」「学びを生かして考えよう」の項目で言語能力の育成をはかることができる。	○	・2年P154、3年P162、P282で 読解力問題のコーナーとして、読解に特化して問題が作成されている。	○	・2年P19など、考察の発問が、具体的な聞き方をしているので、何を答えたらよいか分かりやすい。 ・3年P74の「学びを日常にいかしたら」は、思考力を付け、会話に当てはまる内容を簡潔にまとめる練習ができる。
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・1年P44など、Dマークコンテンツを設け、P7を経由した、他教科の内容・動画、シュミレーション、ウェブサイトへのつながりを工夫している。			○	・単元ごとに、自己チェックがあり、その中にQRコードがあるので、ICTを活用した自宅学習ができる
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	○	・各単元末の「学習内容の整理」が整理されていて分かりやすい。 ・1年P217のように、学んだことを復習するときにすぐ横に答えがあり、質問が思い出しにくいが、説明が容易にできる。			○	・1年P62、P63など、各単元の「学びを日常にいかしたら」のページが考える力につながっている。 ・1年P60、P61など、各単元の「学び続ける理科マスター」のページが、道筋立てて考えていく展開になっているので、さらに深く学びに向かうきっかけとなる。
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○	・2年P78、P79のように私たちの暮らしに化学変化がどう応用されているかを2ページに渡って示している。				
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	◎	・全体的に、生徒の興味を誘う、分かりやすい写真や図が多い。 ・1年P60、P132、3年P61のように漫画で科学の歴史を取り上げ、興味関心を引きやすいように工夫している。 ・1年P114では生徒の理解が難しい溶解度の部分を分かりやすく解説している。 ・1年P156の写真のように「think」コーナーを作り、生徒の関心を引き、P158で解答を載せ、関心を引く工夫をしている。 ・2年P10、P11の周期表では、単に元素記号や原子番号、原子量を示すだけではなく、身近な生活の中で具体的にどのように利用されているかを示しており、生徒の興味関心を引き、自発的に調べてみようとする工夫がされている。 ・2年P38、P39では実験のときに注意しなければならないところや視点を明確に示しており、工夫されている。 ・2年巻末付録で温帯低気圧への理解を深めようと工夫されている。	○	・2年P206、3年P207で生活とリンクさせることで興味関心をより深める工夫がされている。 ・3年P182、P183で高校の内容にも触れ発展的に学習したい生徒に対応できるようになっている。	○	・全体的に写真や図が大きいので、イメージしやすく、身近な問題として捉えやすい。 ・3年生P215の学びをいかすの写真と話題が、単純に文面だけで北半球との季節の違いを問うより興味をひきやすい。
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○	・1年P222、3年P93のように、保健体育や技術家庭などの関連を指摘し、工夫している。	○	・1年P201の日本地図は社会科との関係性がある。 ・2年P79「つながる」で技術の栽培の分野とつなげる記述がされている。 ・2年P155で美術科とリンクさせ屏風の絵の解説がされている。		
2使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴	○	・写真・図は多いが、各単元のページ数には若干差があり、平均55ページ程度とあまり多くない。				
	(2)教材・資料等の分量についての特徴	○	・3年の単元1：化学分野が、「水溶液とイオン」「酸、アルカリとイオン」「化学変化とイオン」の3つの章に分割してあり、段階を追って学習できるように工夫されている。			○	・全体的に細かい資料や写真が多い。 ・2年P34、P36など、実際の実験の細かい操作や注意点が、写真で説明されているので、視覚的に理解しやすい。
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴					○	・2年P118のベネジクト液の色の変化で、実際に実験をすると麦芽糖が少ないと緑色になることもあるので、学校図書には4色の例が写真で載っている。 ・3年P36の記録テープの切り方で、図で分かりやすく、「打点の中央を切る」といった解説が載っていて、視覚的に情報を処理できるので、分かりやすい。
3その他	その教科書の特徴（記述）			○	・1年P63、P171のプロフェッショナルで、既習内容と職業の関係性が分かりやすく明示されている。 ・1年P278、P279、2年P298、P299で、科学館・博物館・科学館などのコーナーを設け、その活用について触れられている。 ・1年P276、P277で自由研究の課題の取り組み方について明記されている。 ・2年P82、P83、3年P8、P9、P86、P87で、小学校で学んだことと、これから学ぶことが明確に分けられている。 ・3年P318で競技用車いすの開発に触れ、豊かな人間性を育む内容となっている。		

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている
教科名〔　理科　〕

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称					
		自然の探究　中学理科　１７・教出		未来へひろがるサイエンス　６１・啓林館			
		評価	理由	評価	理由		
1学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○	・1年P128など、キャラクターを使って疑問を見出す場面が設定されている(主体的)。 ・1年P20、P82など、「話し合おう」としてテーマが示されている(対話的)。 ・2年P244、P261、3年P239など、「計画を立てる」場面が設定されている(主体的)。	◎	・各学年の巻頭に教科書を利用するにあたっての思考の流れが示されている。 ・1年P18、P22など、「考えてみよう」「話し合ってみよう」が具体的に示されていて、授業での主体的・対話的で深い学びを行うためのきっかけとすることができる。 ・1年P200、P201、P262、P263、3年P42、P43、P170、P171、P246、P247などの単元末の「みんなで探Qクラブ」で、まとめの意味も含めて、身近な疑問を対話的で深い学びを進められるように工夫されている。		
	(2)言語能力の育成を図るための工夫			○	・1年P13など、実験・観察の結果の考察のポイントが示してあり、表現の能力を高めることができる。 ・3年P24、P89など、「表現してみよう」の項目により、より高度な能力を育成することができる。		
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・1年P18、P110、P189、2年P91、P204、3年P71など、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる「まなびリンク」が設定されている。	◎	・1年P9、P53など、いたるところに啓林館のウェブサイトにつながるQRコードを提示し、より自主学習等でくわしく調べることができるようにしている。また、啓林館のサイトの動画・写真が大変充実している。 ・1年P185、P227、P278、2年P297など「ICTマーク」でコンピューター利用に適した場所を示している。		
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	○	・1年P140、P144、2年P173、P176、3年P153、P156など、疑問、課題、仮説、計画、実験、考察、結論がはっきり示されているので、めあて・振り返りの学習につなげやすい。	◎	・1年生P54～P55のように、各単元ごとに、分かりやすい図を挿入し整理されたまとめがされている。 ・1年P58、P59、P196、P199、P260、3年P97などの章末問題「力だめし」が、最近の入試問題に出題されやすい会話形式の問題を取り上げている。		
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫			◎	・1年P189図62のみりんの写真のように、身近で利用するものを示し、理科を家庭生活に結び付けようとしている。 ・2年P278、P279の「深めるラボ」や「防災減災ラボ」のコーナーを通して、理科と身近なものの関連性を学べるように工夫されている。		
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫			◎	・1年P20、P36、P37、P40、P41、P42、P43など、見やすく大きな写真・図が多く、生徒の 興味・関心を引き出し、日常生活での発見に目を向けさせやすい。 ・1年P2、P3、P4、P5ではイラストではなく実際の写真を多用して興味関心を引いている。また、 P116 、P 117のように、多くの最新の写真を駆使して興味を引く内容となっている。 ・2年P8、P9、P104、P105、P140、P141の写真のように生徒に興味・関心をもたせるきれいな、そして、ダイナミックな写真をうまく取り入れ工夫されている。 ・2年P14、P15では、他の教科書に比べ大きな図で分かりやすく、色も工夫してまとめられており、進んで学習しようとする意欲を促している。 ・2年P119～P121の3ページを使い、生徒に一番興味関心の高い天気予報について取り上げ、明日の天気を予報する活動で自主的・自発的な学びができる工夫をしている。 ・3年P54、P55、P60、P61、P62、P64、P65と天体分野ではコントラストの高いはっきりとした写真を使用しており、生徒の興味関心を引き、自発的な学習を促す工夫がされている。		
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○	・1年P118などの「ブリッジ算数・数学」で数学科との関連が示されている。 ・2年P219などの「ハローサイエンス」で社会科や総合的な学習の時間につなげられるような内容が取り上げられている。 ・3年P297「学びをつなごう」で他教科で学んだ内容と関連付けた記述がされている。	◎	・1年P238、P239では、力の働きとスポーツを結び付ける最近の興味深い写真を使用し、体育等のつながりを意識している。 ・2年P41のように「お料理ラボ」では、学んだことと実生活での関わりが示され、家庭科との関連性を意識している。		
2使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴			◎	・全体的に写真、図が豊富で大きさ等も見やすくなっていることに加え、3年間のほとんどすべての単元で60ページ以上を確保しており内容が充実している。		
	(2)教材・資料等の分量についての特徴			◎	・全体的に、他の教科書よりも大きく分かりやすい写真、図が多く、説明時に教科書を利用できる機会が多い。 ・前回改訂時の別紙「マイノート」を取りやめ、よりコンパクトに仕上げられている。さらに、巻末に「探Qシート」を付けることで、より深い学びに近づけようと工夫されている。		
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	・色覚障害の生徒に対して配慮されている。 ・本文の文字は、1年では2・3年よりもポイントの大きなものが用いられており、小学生から進級したばかりの生徒への配慮がなされている。	◎	・1年P20、P23、P42、P43、P132、P133、P224など、指導上重要と考えられる箇所でで写真・図の大きさが大きく、分かりやすく、意欲が高まるように設計されている。 ・本文の文字は、1年では2・3年よりもポイントの大きなものが用いられており、小学生から進級したばかりの生徒への配慮がなされている。		
3その他	その教科書の特徴（記述）			◎	・2年の天体では、生徒の関心の高い宇宙から導入し意欲を高め、その後思考力の必要な地球上で起こる現象の説明に進むなど、全体的に生徒の思考の流れを大切にした配置となっている。 ・やや教科書の幅が横に広く、その特徴を生かし、教科書の写真や図が見やすくつくられている。 ・イラストではなく、実際の写真を多用しており、また、実験・観察・実習を多く取り入れ、生徒の興味関心を引き出す内容になっている。 ・「お料理ラボ」「深めるラボ」「お仕事ラボ」「部活ラボ」「減災防災ラボ」「なるほど」などのマークで、それぞれの分野で中学生の身近なものとの関連が深い内容を散りばめ、興味関心を深めている。 ・3年P162、P163のように「発展」として高校化学へとつなげる内容を掲載している。		

音　楽

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　音楽（一般）　〕

	調査実施項目	教科書の名称　発行者の番号・略称			
		中学音楽　音楽のおくりもの　１７・教出		中学生の音楽　２７・教芸	
		評価	理由	評価	理由
1学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○	・自分の考えをまとめ、他者と協働しながら学習を進めることができるよう工夫されており、主体的で・対話的な学習を充実させることができる。（１年P60～P61等）	◎	・キャラクターによる吹き出し等で学びの手順や工夫の視点を具体的に示し、深い学びを実現するための手立てが工夫されており、生徒が主体的に学習を進めることができるように構成されている。（１年P19等）
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	◎	・記述欄を設け、曲に対する自分の考えをまとめ、さらにグループワークで学習を深めることにより、言語能力を育成することできる。（１年P9等）	◎	・曲に対する自分の考えをまとめたり、グループワークで学習を深めて表現活動ができるよう工夫されている。（２・３年上　P23等）
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・ＱＲコードを読み取ることで「まなびリンク」にアクセスし、学習に必要な情報（動画等）を的確に示し、生徒が唱法や旋律の作り方を確認することができる。	◎	・学習内容と関連付けた映像資料へのＱＲコードが付いており、教科書の歌唱教材に関わる場所や楽団についての情報を映像を通して得ることができ、生徒の音楽に対する興味関心を持たせることができる。
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	○	・学びのユニットにより、生徒や学校の実態に応じて内容を選択し、計画的に学習ができるよう工夫されている。（各学年P4～P5）	◎	・学習内容の表示が学習評価の観点と関連付けられ、身に付けられる学力が生徒にも分かりやすい。（P8～9） ・書き込み欄が多く、自分の考えをまとめ、振り返りながら学習を進めることができる。
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○	・生活や社会における音楽の働きや役割について、音楽を通して理解できるよう工夫されている。（２・３年上P70～P71）	○	・音楽の果たす役割が分かる写真を取り入れ、自分の生活や社会と音楽とのつながりが実感できるよう工夫されている。（１年　P66）（２・３年下　P68～P69）
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	○	・指揮の振り方について分かりやすく表記されており、自ら指揮の仕方を考えたり他の生徒と交流することを通して、自発的な学習ができるように工夫されている。（２・３年上P22～P23）	◎	・歌声づくりについて詳細かつ具体的・専門的な記述内容があり、生徒が意欲的に取り組むことができるよう工夫されている。（１年　P14～P15、P20） ・指揮の振り方について分かりやすく表記され、鑑賞曲や歌唱曲の学習の中で自らが指揮をする等により、基礎から体験したくなるよう工夫されている。（１年P42～P43）（２・３年上　P50～P51）（２・３年下　P66～P67）
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○	・読み物教材を取り入れ、国語、社会、理科、外国語、道徳の学習とつなげて考えられるよう編集されている。（２・３年下P38～39歌舞伎「勧進帳」）（１年P66「音」ってなぁに？）等	○	・著作権に関する読み物教材や、海外と日本の音楽を比較できるページを設定することで、国語、社会、理科、外国語、道徳の学習とつながることができるよう編集されている。（２・３年上　P58～P65）等
2使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴	○	主要教材をバランスよく配置している。	◎	・主要教材をバランスよく配置している。 ・心の歌（共通教材）の学年配列が発達段階に合うものである。
	(2)教材・資料等の分量についての特徴	○	・楽器の写真、音楽年表での時代表記等の解説が充実しており、多様な情報を見渡せ、学ぶ楽しさを広げることができる。	◎	・鑑賞教材の写真や解説資料を充実させており、鑑賞教材の内容を理解しやすいように工夫されている。（弦楽合奏の演奏写真）（日本の年表での時代比較）（ベートーヴェン、交響曲）（スメタナと当時のヨーロッパ地図）等 ・合唱曲が多く掲載されており、授業や合唱コンクール等で活用しやすい。（巻末）
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	・ＵＤフォントを使用しポイントが分かりやすくなっている。 ・配色も配慮されており、より多くの人に見やすくなっている。	◎	・ＵＤフォントを楽譜中の歌詞にも使用し、可視性を高め、より学習しやすくなっている。 ・学習内容を見開き１ページで示し、見通しを持って学習することができる（各学年P8～P9） ・シンプルかつ配色への配慮があり見やすく編集されている。 ・学習上必要となる情報が見開きページに収められる等、生徒にとっても学習内容が分かりやすく、使いやすい。
3その他	その教科書の特徴（記述）	○	・歌唱の基礎的な技能を身に付けるために、楽譜の見方、声部の役割についても詳しく説明されている。（１年P24～P25）	○	・各界（音楽芸術関連）のプロフェッショナルからのメッセージにより、自ら考える力を引き出すよう工夫されている。（各学年P2） ・郷土の音楽、世界の民族音楽からポピュラー音楽へという配置で生徒たちが興味関心を持ち様々な音楽と出会うことができるよう工夫されている。（２・３年下P54～）

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔音楽（器楽合奏）〕

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称			
		中学器楽　音楽のおくりもの　１７・教出		中学生の器楽　２７・教芸	
		評価	理由	評価	理由
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫			○	・キャラクターによる吹き出し等で思考の例を示し、生徒が主体的に学習を進めることができる。（P11、P13等）
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	○	・演奏に対する自分の見方や考えをまとめたり、グループワークで学習を深められるよう工夫されている。（P26～P27等）	○	・唱歌を取り入れ、曲に対する自分の考えをまとめたり、グループワークで学習を深めて表現活動ができるよう工夫されている。（P15等）
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・ＱＲコードを読み取ることで「まなびリンク」にアクセスし、学習に必要な情報（動画等）を的確に示し、生徒が奏法の確認を行うことができる。	◎	・学習内容と関連付けた映像資料へのＱＲコードが付いており、教科書で紹介されている奏者の演奏を映像を通して学習することができ、生徒の器楽に対する興味関心を持たせることができる。
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	・示された「学びのねらい」と「まとめの曲」によって学習を見通すことができる。（P6～P7等）	◎	・学習内容の表示が学習評価の観点と関連付けられ、身に付けられる学力が生徒にも分かりやすい。（P8～P9） ・LESSONごとに学ぶべきポイントが明示されており、学習の見通しが立てやすい。（P20等）
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫				
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫			◎	・演奏しやすい曲、誰もが知っている曲から入り、できる喜びを味わえ、学習意欲の継続につながるよう工夫されている。（P20、P22、P27、P29） ・練習曲は難易度順で無理のない選定となっており、生徒にとっても取り組みやすい。
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫				
2 使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴				
	(2)教材・資料等の分量についての特徴			◎	・楽器の手入れ、種類、分類等、指導上必要な事項や内容についての記述が充実していて、器楽に関する知識が増えるよう工夫されている。（P17リコーダー：「楽器の手入れ」）（P33ギター：「種類について」）（P70～P74　打楽器について）
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	・ＵＤフォント使用し、ポイントが分かりやすくなっている。 ・配色も配慮されており、より多くの人に見やすくなっている。	◎	・楽譜間の空間の取り方等、見やすくなるよう工夫されている。 ・写真、図への情報の量や配置に配慮しており、シンプルで分かりやすく表示されている。（P18等）
3 その他	その教科書の特徴（記述）	○	・鑑賞教材や歌唱共通教材として親しまれている楽曲が多く採り入れられている。（「ブルタバ」「赤とんぼ」等）	◎	・生徒が進んで演奏したくなるような魅力的な楽曲が多く採り入れられている。（「笑点のテーマ」「魔女の宅急便」等）

美　術

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表
教科名〔　美術　〕

◎特に優れている　　○優れている

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称					
		美術１　発見と創造、美術２･３　探求と継承　９･開隆堂		美術　１、美術　２・３　　３８・光村		美術１　美術との出会い、美術２・３上　学びの実感と広がり、美術２・３下　学びの探求と未来　　１１６・日文	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由
1学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・「学習の目標」や「学習のポイント」が示され、それぞれの題材で大切なことが瞬時に分かり、学びが深まるように工夫されている。〈例〉1P20-P21 ・共同制作など生徒同士の主体的な対話活動による活動場面を多く設定し、表記されている「学習のポイント」をヒントに話し合い活動を通じて発想や構想を広げたり、問題を解決したりできるよう工夫されている。〈例〉1P20-P21、1P36-P37	○	・すべての題材において活動の流れが「鑑賞」から「表現」となっており、生徒が授業の流れを明確にイメージしやすく、主体的に考え取り組めるよう工夫されている。 〈例〉1P28-P29 ・各題材の冒頭に鑑賞図版を掲載し、生徒が主体的に作品を鑑賞し、かつ対話が生まれるような問いを提示している。 〈例〉1P28-P29、1P40-P43	◎	・生徒が親近感をもって主体的に学習に取り組めるように、実際の授業の情景写真や、生徒作品、「造形的な視点」を多く掲載するとともに、具体的に書かれた「学びの目標」や学習内容をイメージできるサブタイトルを掲載し、何を学び、何ができるようになるかを明確にしている。 〈例〉1P20-P21 ・造形や鑑賞の活動場面で、生徒の相談し話し合う姿や、会話する様子が多く掲載され、対話的な学びを促す工夫がされている。〈例〉1P40-P41
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	○	・生徒や作家の「作者の言葉」や作品解説を多く掲載し、形と色彩、言葉を通じたコミュニケーション能力を高めていけるように配慮している。〈例〉1P20-P21、1P36-P37、2・3P114-P115 ・協働や協力をして活動する題材を多く取り上げ、生徒同士のコミュニケーションや言語活動が深められるよう工夫されている。 〈例〉1P18-P19、1P20-P21、2・3P76-P77、2・3P114-P115	○	・他者と意見交換しながら作品をつくる様子や、作品を制作した生徒の思いや意図を伝える「作者の言葉」や、作品解説を掲載し、生徒のコミュニケーション能力の育成と言語活動の充実を図るように配慮している。〈例〉1P28-P29、1P40-P43、2・3P57-P58	◎	・生徒や作家の「作者の言葉」や作品解説を多く掲載するとともに、発想や構想の際に、感じたことや考えたことを言語化するためにアイデアスケッチなどを活用する事例や、鑑賞する際には、他者との対話を通して見方・考え方を広げる活動を紹介して、形や色彩・言葉で思いを伝え合う活動を促している。 〈例〉1P11、P13、1P20-P21、1P40-P41、2・3上P10、P2・3下P10
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・ほとんどの題材や資料でＱＲコードが掲載され、制作の手順やポイント、用具の安全な使い方、制作や鑑賞の参考になる動画や資料を紹介し、調べ学習など生徒の主体的な学習への活用のための工夫がされている。〈例〉1P54-P55、2・3P56-P57	○	・題材の随所にＱＲコードを掲載し、技法動画や鑑賞の導入に使える音声ガイド、作品の３６０度動画、全国の生徒作品など多彩な資料が提供され、表現活動や鑑賞活動の充実が図られている。 〈例〉1P31-P34、2・3P82-P83	○	・適宜掲載されたＱＲコードにより、作品についての多様な見方の紹介や、立体作品の拡大、３６０度様々な角度からの鑑賞、掲載作品や用具の取り扱い、技法の説明を動画で紹介して学習を深める工夫がされている。〈例〉1P15,1P61
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	○	・題材ごとに「学習の目標」が３つの観点で示されており、生徒が見通しをもって学習できるように工夫されている。〈例〉1P20-P21 ・活動の振り返りを「学びの目標」に照らし合わせて行うことで、学んだことや身に付いた力を確認することができるよう工夫されている。	○	・各題材の表現「発想・構想」で、生徒の制作過程が活動の様子の写真を添えて詳しく示されており、その過程を参考にしながら自分の作品制作の見通しがもてるよう工夫されている。〈例〉1P40-P43	○	・各題材の始まりに「学びの目標」を３つの観点で具体的に示すことで、生徒が見通しをもって学習できるように工夫されている。 〈例〉1P20-P21 ・活動の振り返りを「学びの目標」に照らし合わせて行うことで、学んだことや身に付いた力を確認することができるよう工夫されている。
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫					○	・生徒が撮影した身の回りの美(23上P6-P7)や家庭での過ごし方に着目した資料(1P47)、各地域の伝統文化(1P56-P57)や作品展示の情景写真(2・3上P36-P37)など、作品を家庭で使ったり(1P40-P41)、学びを地域の方に伝えたりする事例や、生活をより豊かにする美術の働きが実感できる事例(2・3上P44-P45)、地域や家庭に意識を向ける事例を多数取り上げている。
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	○	・屏風絵や自画像の一部分を原寸大で掲載し、実際の大きさや質感等が感じられるように工夫されている。〈例〉1P25-P28、2・3P19 ・図版に解説や、作家や生徒による「作者の言葉」を添えることで、生徒の興味・関心を引いたり、創作意欲を高めたりする工夫がされている。〈例〉1P20-P21、1P38-P39	○	・版画や絵巻物等の図版では、そのすべてや一部の原寸大(2・3P25-P28)での掲載や、風合いのある用紙の使用(1P19-P20)、鑑賞図版の上から書き込めるトレーシングペーパーの綴じ込み(2・3P10-P13)など、体験型の鑑賞活動が深まるよう工夫がされている。 ・表現中心の題材で、発想や構想の具体的な手立てを生徒の写真やアイデアスケッチなども掲載しながら示し、具体的にどのように発想を広げ、構想を練っていくのかを理解できるよう工夫している。〈例〉1P40-P43	◎	・原寸大の浮世絵(2・3上P24-P29)や土器(2・3下P48-P49)、実際のように折り曲げることができる屏風絵(1P32-P37)の掲載により、実感を伴った理解ができるように工夫されている。 ・自ら主題を生み出せるように、身近な題材及び構想を深める手掛かりとなるアイデアスケッチや生徒作品、作家作品、作家の発想方法、作家や生徒による作者の言葉などのヒントが多数掲載されている。〈例〉1P20-P21,1P40-P41
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫			○	・他教科とのつながりをコラムとして具体的に示しており、関連性を実感しやすくしている。〈例〉1P37国・P43数・P45国・P53社・P55家・P74理・P80国	○	・他教科での学習を生かしたり、総合的な学習や他教科と関連付けたりした題材や事例を掲載し、教科等横断的な視点でカリキュラム・マネジメントができるよう工夫されている。 〈例〉1P40-P41数、1P56-P57総、2・3上P65国、2・3下P14-P15音
2使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴						
	(2)教材・資料等の分量についての特徴	○	・巻末において形や色などの造形要素、表現技法や材料・用具の知識などを整理し、「学びの資料」(1P52-P67,2・3P106-P122)としてまとめ、基礎・基本としての幅広い知識と技能を身に付けられるよう配慮している。			◎	・各学年の巻末で、題材に関連する発達段階に配慮した資料や技法を分かりやすく掲載しており、基礎・基本としての幅広い知識及び技能の習得を図れるよう工夫されている。(1P58-P75、2・3上P50-P65、2・3下P48-P57) ・題材や生徒作品、発想や構想のヒント・手立ての掲載が比較的多い。 ・１つの題材の中でいくつかの実践例が示され、生徒の実態に応じて材料の種類や数を絞るなどの工夫ができるように配慮されている。 〈例〉1P40-P41、2・3下P8-P11
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	◎	・Ａ４ワイド版にすることで図版をより大きく掲載したり、色覚の個性に対応するカラーユニバーサルデザインの考え方で、黄色をもとに彩度の変化を表すなど紙面の配色を工夫(1P63)したりして、誰にとっても図版が見やすくなるようにしている。 ・中学以上で習う漢字すべてにルビを記載したり、文章の意味のまとまりごとに改行を行うなど多様な個性をもつ生徒への配慮がなされている。〈例〉1P32、2・3P36	○	・どの題材も表現と鑑賞が一体的に学習できるよう、相互の関連を図った構成が工夫されている。〈例〉1P30-P35	◎	・図版の色彩再現度が格段に優れ、印刷が美しく鮮明であることや、Ａ４ワイド版で各図版サイズも目的に応じ適切に調整されているため、図版を大きく、はっきり見られる。〈例〉2・3上P24-P29 ・色覚の個性に対応し文字と背景のコントラストなどを検討し、カラーユニバーサルデザインに配慮している。〈例〉1P14-P15、2・3上P36-P37 ・生徒が第２学年と第３学年の違いを意識できるよう発達段階に即した３分冊構成になっている。
3その他	その教科書の特徴（記述）						

保健体育

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　保健体育　〕

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称							
		新しい保健体育　２・東書		中学校保健体育　４・大日本		最新　中学校保健体育　５０・大修館		中学保健体育　224・学研	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由	評価	理由
1学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○	・教科を通して自分らしさや自己開発等について考える機会を設けている。また、多様な関連性を示すことで、学習の活発化を図っている。						
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	◎	・用語・キーワードのまとめや解説を設けることで、生徒の理解を深める工夫がなされている。 ・「活用する」では、学習した内容をもとに記述する課題も設定されている。	○	・「学びを活かそう」では、生徒が考えを記述し、個々に学習内容を振り返るように工夫されている。	○	・用語・キーワードのまとめや解説を設け、生徒の理解を深める工夫がなされている。		
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	◎	・インターネットを使った学習ができるよう表示されており、内容の一覧としてもまとめられている。教材も生徒の関心が高められるよう工夫されている。	○	・生徒が、インターネットやデジタル教材の活用に興味を持つような工夫がされている。	○	・インターネットやデジタル教材を使った深まりを工夫している。	○	・インターネットやデジタル教材を使った深まりを工夫し、ICT機器を活用した学習につながるようにしている。
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫								
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○	・発展的な学習では、中学生が地域貢献した例をあげており、生徒が実際に地域と連携した活動に取り組めるような機会を作り出している。						
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫					○	・最近の写真を多く掲載している。 ・実技例を多く取り上げ、内容も豊富である。		
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○	・各単元の内容と、他教科（学年）との関連が分かりやすく表示されているため、生徒の興味関心や学習意欲につながる。						
2使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴								
	(2)教材・資料等の分量についての特徴								
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	ユニバーサルフォントを使用し、配色にも工夫がなされているため、読みやすく、ポイントが分かりやすい。	○	ユニバーサルフォントを使用し、読みやすくなっている。	○	ユニバーサルフォントを使用し、読みやすくしている。		
3その他	その教科書の特徴（記述）	◎	・単元の捉え方が多様であり、今日的な教育課題への対応が豊富にあげられている。他の分野とのつながりを示し、生活について考えを深められるように工夫している。			○	・各章の始めのページでは、学習内容が分かりやすく捉えられるよう工夫されており、学習の見通しが持ちやすい。	○	・各章の始めのページでは、学習内容をつかみやすくする工夫がみられる。

技術・家庭

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔技術・家庭(技術分野)　〕

	調査実施項目	教科書の名称　発行者の番号・略称					
		新しい技術・家庭　技術分野　2・東書		New技術・家庭　技術分野　明日を創造する　6・教図		技術・家庭　技術分野　テクノロジーに希望をのせて　9・開隆堂	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由
1学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・技術分野ではガイダンスの中で、問題解決のプロセスを考える上で有効な思考ツールや対話の方法を取り上げられており、主体的・対話的な活動をつくりだす工夫がされている。			○	・はじめに考える課題を取り上げ主体的に取り組める。
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	◎	・「問題解決カード」で考えを整理し書くことで言語能力の育成につながる工夫がされている。			○	・振り返りを文章で書かせるように工夫されている。 ・学習のまとめの学びを深めようは生徒の思考力を働かせることができる。
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	◎	・各編の最初のDマークのQRコードを読み込むことで、手軽に動画を見たり、問題に取り組んだりできるコンテンツが示されている。				
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	・目標、キーワードと振り返りが単元ごとに示されている。 ・章末の「学習のまとめ」では、大切な用語を取り上げ、掲載ページで自ら確認したり復習したりできる工夫をしている。	○	・目標、キーワードと振り返りが単元ごとに設定されている。	○	・目標と振り返りが単元ごとに設定されており、分かりやすい。
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫						
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	◎	・各編のはじめに「技術の見方・考え方」、「技術の最適化」を考える構成になっている。 ・パラパラ漫画で、情報分野の動画の原理につなげている。 ・「技術の工夫」には学習内容に関連した用語の解説や歴史などの記載があり、興味・関心を促す工夫がされている。				
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	◎	・QRコードで読むコンテンツの中に、他教科や小学校との関連資料等がある。				
2使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴						
	(2)教材・資料等の分量についての特徴						
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	・巻末にコンピュータの基礎やプログラムについてまとめられ使用しやすい。	○	・実習で使用するところがハンドブックにまとめられている。 ・本文の文字サイズが大きく読みやすい。	○	・巻末にコンピュータの基礎やプログラムについてまとめられ使用しやすい。 ・日本の工芸品マップは生徒の興味関心を引くことができる。
3その他	その教科書の特徴（記述）	○	・プログラミング学習の「双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決」「計測・制御のプログラミングによる問題解決」では、全領域を通して問題解決、PDCAサイクルの思考を基にして、熱中症、自動収穫ロボット、福祉車両など最近の身近なものや話題性を持った題材を多く取り上げている。また、プログラミングの基礎が別冊付録として用意されている。				

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔技術・家庭（家庭分野）〕

	調査実施項目	教科書の名称　発行者の番号・略称					
		新しい技術・家庭　家庭分野　自立と共生を目指して　2・東書		New技術・家庭　家庭分野　くらしを創造する　6・教図		技術・家庭　家庭分野　9・開隆堂	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・「生活の課題と実践の進め方」の中で、問題解決のプロセスを考える上で有効な思考ツールや対話の方法を取り上げており、主体的・対話的な活動をつくりだす工夫がされている。				
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	○	・生活の中に、衣食住に関わる独特の言い回しや名称があり、よく使われる用語の解説が示されている。				
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	◎	・各編の最初にデジタルコンテンツ「Dマーク」のQRコードが示されている。また、巻末にはコンテンツ一覧を掲載しており、確認しやすい。	○	・QRコードが随所にあり、動画で確認でき、生徒の理解を深められる。	○	・QRコードが随所にあり、動画で学習内容を確認できる。
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	・章末の「学習のまとめ」では、大切な用語と掲載ページが示されており、確認したり復習したりできる工夫がされている。	○	・章末の「学習のふりかえり」では、3観点に沿って学んだことを確認できる問題が掲載されている。		
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	◎	・「生活の課題と実践の進め方」では、(各領域の)問題解決のためのステップを進める工夫がされている。 ・巻末に、「防災・減災手帳」があり、家庭や地域での防災・減災意識を深めることができる。	○	・「やってみよう」や章末に「生活の課題」例が示され、家庭や地域で実践できるよう工夫されている。	○	・目次に「実験例」「実習例」が記載されており、家庭での実践につながる。 ・「生活に生かそう」が設けられ、家庭と地域で家族と関わり実践できるよう工夫されている。
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	◎	・「せいかつメモ」には学習内容に関連した用語の解説や歴史などの記載があり、興味・関心を促す工夫がされている。 ・幼児の視野が体験できる眼鏡の付録がついている。			○	・「豆知識」には学習内容に関連した用語の解説や歴史などの記載があり、興味・関心を促す工夫がされている。
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫						
2 使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴						
	(2)教材・資料等の分量についての特徴						
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	・右利き、左利き両者の用具の使い方が表示されている。	○	・本文の文字サイズが大きく読みやすい。	◎	・文節が途中で途切れないようにしてあり、読みやすい。 ・右利き、左利き両者の用具の使い方が表示されている。 ・食物アレルギーの原因となる食品の文字の背景の色が分かりやすく変えてある。
3 その他	その教科書の特徴（記述）	◎	・生徒の興味関心の高い食生活の学習が最初に配置されている。 ・調理実習のページの出来上がり写真の構図に工夫があり、まわりにご飯や小鉢を並べた食卓の雰囲気を出し、生活の中で実践できる工夫がされている。				

英　語

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　英語　〕

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称					
		NEW HORIZON English Course 2・東書		SUNSHINE ENGLISH COURSE 9・開隆堂		NEW CROWN English Series 15・三省堂	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・Mini Activity→Unit Activity→Stage Activityと、ステップアップできるような構成で、友だちとつながりながら、対話的で深い学びができるような活動が設定されている。そのテーマも、第2学年の職場体験学習等、子どもたちの成長と学校行事にリンクしたものになっている。	◎	・各Programの内容が、Scenes→Think→Retell→Interactと、他者にはない構成になっており、自主的・対話的で深い学びへの工夫が見られる。	○	・3つのProjectが設定されており、例えば第2学年の「修学旅行のプランを提案しよう」など、自分たちの身近なテーマに基づき、仲間とつながりながら課題を解決するといった、深い学びの工夫がされている。
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	◎	・1年生のUnit5までは、小学校での既習事項を振り返るためのコミュニケーション活動が導入として設定されている。特に「話す」活動は、小学校で学習した表現が使われており、少しずつ丁寧に小学校での学習を振り返りながら、中学校での学習に結び付けられるように工夫されている。 ・1年生のUnit6～2年、3年では、Previewで各Unitの Key Sentence が網羅された目的、場面、状況設定がアニメーションで提示され、それがQRコードで動画としても確認できるように工夫されている。 ・Preview→Scene→Mini Activity→Read and Think→Unit Activityという流れは言語能力の育成を図る上で効果的な構成である。	○	・各Programの基本表現がScenesのページにまとめられており、マンガ形式の短い対話で書かれているので、使用する場面が分かりやすい。また、「聞く」「話す」「書く」の順で定着させるように工夫されている。 ・言語能力の定着に効果的であるRetellが設定されている。	○	・1年生のLesson3までは、小学校の授業のように聴く活動から単元が始まるようになっている。それを参考にしてSpeakingの活動→基本文の定着（Drill）→Reading（本文）→Writing（アウトプット）の順に進められる。 ・対話文を読むことから単元が始まり、説明文や物語文などのまとまった英文概要をとらえる活動が設定されている。
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫	◎	・QRコードで単語や本文の音声をテキストを見ながら聞いたり、Previewの会話内容が動画で確認したりすることができる。	○	・QRコードではアニメーションも設定されており、場面や状況が分かりやすい。 ・メールでのやりとり、行きたい国についてのプレゼンテーション、歴史上の人物、日本の文化についてのProgramがあり、ICTを活用して学習活動を行うことができる。	○	・見開きごとにQRコードがあり、単語や本文だけでなく、リスニングタスクの音声やスキットの音声も聞くことができる。また、活動のモデルや発音のアニメーションなどの動画も見ることができる。
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	・小中接続に関して、時間をかけて少しずつ丁寧に振り返りながら中学校につなげる工夫が見られる。 ・単元目標が「～できる」で表現されているため、生徒にとって分かりやすい。また、単元の終わりに達成できたかが確認できるようになっている。 ・巻末にCAN-DOリストが掲載されており、生徒が自己評価することができる。	◎	・小中接続に関して、1年生の巻頭20ページにわたり小学校で学んだ表現やアルファベット（名前読みと音読み）、母音と2つの子音字の音声について振り返ることができる。 ・単元目標が最初のScenesの3つの場面に分かれて設定されており、場面や状況を通じてその後の学習に見通しが持ちやすい。		
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○	・本文をもとにして、普段の学校生活や、休みの日の自身の体験について表現する等の言語活動が設定されている。 ・日本や郷土の文化を外国人に紹介するなど、自分たちが暮らす津市に目を向けられるような言語活動が設定されている。	○	・書道、カルタ遊び、年末年始の過ごし方など、学校や家庭での日本独自の体験を題材にあげている。 ・「あなたの街を世界にPRしよう」など、地域社会と連携した言語活動が設定されている。また、その構成の順に工夫が見られる。	○	・学校生活や行事に関する言語活動が設定されている。 ・自分の住む町や地域の紹介を生徒が考えられるような言語活動が構成されている。
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	◎	・QRコードを利用して家庭でも音声を聞いて学習することができ、Previewの動画等、その内容が充実している。 ・日常生活や学校生活の場面につながる場面設定等、生徒の興味関心を意識した内容の工夫が見られる。 ・他社に比べて全体に情報量が多く、その内容が見開きの1ページに効率よく構成され、写真や絵、グラフ等の資料も豊富で、生徒の自発的な学習を促す工夫が見られる。	◎	・基本文の導入が文字だけでなく2コマのマンガ形式になっているので、場面を想像しやすい。 ・各Programの最初にScenesが設定され、場面や状況が分かりやすいように工夫されている。 ・ディベートやディスカッションの内容が「無人島で1か月暮らすことになったら何を持っていくか」など生徒が自ら考えたくなるような課題が設定されている。		
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○	・体育科、社会科、国語科、理科、道徳科や総合と関連付けられる題材がUnitのテーマになっている。 ・他教科等との関連があることが分かるように教科名が明示されているページがある。（3年生P33「食物連鎖」理科、3年生P69「選挙」公民）	○	・杉原千畝、ごんぎつね、スティービーワンダーやキング牧師など、社会科や音楽科、道徳科との関連が図られている。	○	・環境問題や、障碍者スポーツに関する記事を読んで自分の考えを伝える活動等、音楽科、社会科、国語科、家庭科、道徳科等の他教科と関連する題材が取り上げられている。
2 使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴	○	・それぞれのUnitに他者より多くの活動や問題が用意されており、5領域がバランスよく取り入れられている。				
	(2)教材・資料等の分量についての特徴	○	・全体的に他者に比べて情報量が多いが、写真やイラスト、グラフ等の資料を効果的活用し、負担感を少なくしている。 ・巻末の分類別の単語等の教材が豊富で、CAN-DOリストにはチェック欄も設けられ、振り返りがしやすくなっている。			○	・巻末の付録に、書く及び話す活動に使える単語が多く記載されている。 ・各セクションの基本文Drillで使える語句や、Get Plusという特定の場面における会話を設定したページで多くの語句が掲示されている。
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	・各Unitのレイアウトが統一され、同じ学習活動の要素を決まった位置に配置している。 ・他者に比べてサイズが大きく、豊富な情報量に対応している。 ・新出単語の部分に背景色をつけるなど、視覚的にやさしい工夫がされている。				
3 その他	その教科書の特徴（記述）	○	・SDGsが意識され、持続可能な世界の実現に向けて、英語を通じて世界を見つめなおすような題材設定の工夫が見られる。				

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　　英語　　〕

	調査実施項目	教科書の名称　発行者の番号・略称					
		ONE WORLD English Course　１７・教出		Here we go! ENGLISH COURSE ３８・光村		BLUE SKY English Couse　６１・啓林館	
		評価	理由	評価	理由	評価	理由
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○	・各Lessonの間に、４技能を意識したTipsやProjectを構成し、対話的で深い学びへの工夫が見られる。				
	(2)言語能力の育成を図るための工夫			○	・ストーリーと言語活動の場面が同じで、listen→ speak→ writeの順でアウトプットできる流れになっている。 ・各パートにペア活動があり、場面状況を設定して、やりとりの練習をする構成になっている。	○	・Unitの扉はないので、各partごとに目標設定がされている。それぞれのUnitは、読むこと（本文）、聞くこと、基本文とその練習に続き、自分の考えや自分のことについて話した後に書く活動が設定されている。
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫					○	QRコンテンツは、音声だけでなく、文字も表示される。また、新出単語も和訳の表示・非表示を切り替えることができる。
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫			○	・小中接続に関して、巻頭２７ページにわたり小学校で学んだ表現やアルファベット（名前読みと音読み）、母音と２つの子音字の音について振り返ることができる。 ・巻末にCAN-DOリストが掲載されており、4技能領域別に生徒が自己評価しやすいようにまとめられている。		
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫						
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫						
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫						
2 使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴						
	(2)教材・資料等の分量についての特徴						
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴						
3 その他	その教科書の特徴（記述）						

特別の教科　道徳

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　特別の教科　道徳　〕

調査実施項目		教科書の名称　発行者の番号・略称							
		新訂　新しい道徳　２・東書		中学道徳　とびだそう未来へ　１７・教出		中学道徳　きみがいちばんひかるとき　３８・光村		中学道徳　あすを生きる　１１６・日文	
			理由	評価	理由	評価	理由	評価	理由
1学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	すべての題材の冒頭に明確にテーマを示し問題提起をすることで、テーマについて対話しやすく、他者との関わりから考えを深めることができる。	○	教材内容にふさわしい問いが３題掲載されている。			◎	・さまざまな人の生き方や考え方から学ぶ題材が豊富である。 ・近代の社会情勢に合わせた内容が扱われている。
	(2)言語能力の育成を図るための工夫	○	・「つぶやき」記入欄があり、ワークシートにまとめる際に役立つ。 ・「話し合いの手引き」が各学年に掲載され、話し合い活動がスムーズに行える。（司会カードあり）	○	自分の考えを基に話し合ったり、考えを交流したりして言語活動の充実を図る工夫がされている。				
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫					◎	教科書連動コンテンツを活用して、動画や朗読音声、参考サイトを活用できる。		
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫					◎	巻頭の「道徳の授業を始めよう」は学ぶ目標や学び方が分かりやすく表記されており、生徒の学習に対する意欲を高めることができる。	◎	別冊「道徳ノート」を活用し、学習の過程を振り返る・見つめ直すことができる。保護者記入欄もある。
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫								
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	○	題材の中にマンガなども取り入れ、生徒の興味関心を引く内容である。			○	文章中心の読みものだけでなく、マンガ形式のものや論説、豊富な写真が取り入れられている。	◎	生徒もよく知る新しい話題や、社会的課題も掲載されており、生徒が身近に関心を持って考えることができる。
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫							◎	「プラットホーム」では、他教科やさまざまな活動とつなげて、視野や考えを広げられる。
2使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴	◎	いじめ、命の尊さについて、時期を集中させて設定している。					◎	内容項目が過不足なく押さえられ、さらに重点項目には複数の教材が準備されている。
	(2)教材・資料等の分量についての特徴					○	文章量が比較的少ないため、読むことと書くことのバランスがとりやすい。		
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴	○	・AB判。 ・ワークシートがついている。空欄のため、自由度は高い。					◎	・写真の掲載が多い。 ・書くことが苦手な生徒でも○をするだけで、振り返りができるようになっている。
3その他	その教科書の特徴（記述）	◎	考え議論するためのツールとして、自己評価表、ホワイトボード用紙、情円がついている。	◎	各学年の発達段階に応じて考えさせたい身近な人権課題を取り入れ、身の回りの出来事と社会問題を両輪で考えることができる。			◎	新しい話題や社会的課題が掲載されており、人権尊重の精神に基づき、偏りがないよう人権に配慮されている。

〔様式1〕
中学校用教科用図書調査実施結果一覧表　　◎特に優れている　　○優れている

教科名〔　特別の教科　道徳　〕

	調査実施項目	教科書の名称　発行者の番号・略称							
		新・中学生の道徳　明日への扉　２２４・学研		中学生の道徳　自分を見つめる 232・廣あかつき		生き方から学ぶ、生き方を見つめる、生き方を創造する ２３３・日科			
		評価	理由	評価	理由	評価	理由	評価	理由
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○	題材に家庭や学校生活での、身近な問題や課題が取り上げられており、当事者意識を持ちながら学習することができる。						
	(2)言語能力の育成を図るための工夫								
	(3)情報活用能力の育成に向け、ＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るための工夫								
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫			◎	付録の道徳ノートにおいて、学習した項目ごとに心に残ったことを、数値化して見つめ直すことができる。				
	(5)各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○	国際貢献や国際社会の中での日本の在り方や異国の文化・風習を学ぶことで、生徒の価値観の醸成につながる。						
	(6)生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫					○	3年間つながる生徒の日常を描く教材がある。		
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫								
2 使用上の便宜	(1)内容別配当の分量についての特徴	◎	「命の教育」を重点テーマとし、「生命の尊さ」の教材が各学年3本ずつ掲載されている。						
	(2)教材・資料等の分量についての特徴								
	(3)造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等についての特徴			○	1年生は本文の文字が大きくなっている。				
3 その他	その教科書の特徴（記述）	◎	SNS等を通しての情報モラル、防災、福祉等の現代的な課題も提起している。			◎	LGBTをとりまく課題を取り上げた教材がある。		

採択地区別中学校用教科用図書採択状況一覧（道徳:平成31年度から使用、道徳以外の教科:令和２年度から使用）

上段：直近の採択
下段：旧採択（直近の採択と発行者が異なる場合）

種目／採択地区	国語	書写	社会			地図	数学	理科	音楽		美術	保健体育	技術・家庭		英語	道徳
			地理	歴史	公民				一般	器楽合奏			技術	家庭		
北勢第１	光村	東書	帝国	日文	日文	帝国	東書	啓林館	教芸	教芸	日文	東書	東書	東書	三省堂	日文
北勢第２	光村	東書	帝国	東書	日文	帝国	啓林館	啓林館	教芸	教芸	日文	大修館	東書	東書	三省堂	教出
北勢第３	三省堂	東書	東書	東書	日文	帝国	教出	学図	教芸	教芸	光村	学研	東書	東書	教出	日文
津	東書	光村	帝国	日文	東書	帝国	啓林館	啓林館	教芸	教芸	日文	東書	東書	東書	東書	日文
松阪	光村	光村	帝国	日文	日文	帝国	啓林館	啓林館	教芸	教芸	開隆堂	学研	開隆堂	開隆堂	東書	東書
伊勢・度会	光村	東書	東書	日文	東書	帝国	東書	啓林館	教芸	教芸	光村	東書	東書	開隆堂	三省堂	光村
鳥羽・志摩	光村	東書	東書	東書	東書	帝国	啓林館	啓林館	教芸	教芸	光村	大日本	東書	東書	三省堂	東書
伊賀	三省堂	東書	帝国	日文	日文	帝国	数研	啓林館	教芸	教芸	日文	学研	東書	東書	東書	東書
尾鷲	三省堂	光村	帝国	東書	東書	帝国	東書	啓林館	教芸	教芸	日文	学研	東書	東書	三省堂	東書
熊野	東書	教出	帝国	日文	日文	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	東書	教出	東書

※東書…東京書籍、大日本…大日本図書、開隆堂…開隆堂出版、学図…学校図書、三省堂…三省堂、教出…教育出版、教芸…教育芸術社、
光村…光村図書出版、帝国…帝国書院、大修館…大修館書店、啓林館…新興出版社啓林館、数研…数研出版、日文…日本文教出版、学研…学研教育みらい

採択地区別小学校用教科用図書採択状況一覧（令和２年度から使用）

上段：直近の採択
下段：旧採択（直近の採択と発行者が異なる場合）

種目／採択地区	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	保健	英語	道徳
北勢第１	光村	光村	日文	帝国	東書	啓林館	啓林館	教芸	日文	東書	光文	東書	教出
		東書		東書						開隆堂	学研		光文
北勢第２	東書	東書	日文	帝国	東書	啓林館	日文	教芸	日文	開隆堂	東書	教出	光文
	光村												
北勢第３	光村	東書	日文	帝国	東書	啓林館	啓林館	教芸	日文	開隆堂	東書	光村	光村
津	光村	東書	日文	帝国	東書	啓林館	啓林館	教出	日文	東書	学研	東書	学研
							東書	教芸					
松阪	光村	日文	日文	帝国	東書	東書	大日本	教芸	日文	開隆堂	東書	東書	学研
							東書	教出			学研		
伊勢・度会	東書	光村	日文	帝国	東書	啓林館	啓林館	教芸	開隆堂	東書	東書	開隆堂	日文
		東書					学図		日文				光文
鳥羽・志摩	光村	東書	日文	帝国	東書	啓林館	啓林館	教芸	日文	開隆堂	東書	東書	光村
											学研		
伊賀	光村	東書	日文	帝国	東書	啓林館	日文	教芸	日文	開隆堂	東書	東書	日文
											学研		
尾鷲	光村	東書	教出	帝国	東書	東書	大日本	教芸	日文	東書	学研	教出	日文
熊野	光村	光村	日文	帝国	東書	啓林館	啓林館	教芸	日文	東書	東書	教出	東書
		東書		東書									

※　東書…東京書籍、大日本…大日本図書、開隆堂…開隆堂出版、学図…学校図書、教出…教育出版、教芸…教育芸術社、光村…光村図書出版、
帝国…帝国書院、啓林館…新興出版社啓林館、日文…日本文教出版、光文…光文書院、学研…学研教育みらい